

シンポジウム

取調べの可視化をめぐる 東アジアの動き

—日本・韓国・台湾における制度運用の比較を通じて—

日時：2017年1月11日 10:20-11:50（水曜・2限）

場所：A1 教室

入場無料 どなたでもご参加いただけますが、収容人員の関係で満員の場合入場できないことがあります。

講演者

- ・ **安部祥太氏**（青山学院大学法学部助教／刑事訴訟法）
韓国における状況について
- ・ **陳誌泓氏**（ちん・しこう／弁護士）
台湾の議論状況について——弁護士としての経験を踏まえて——
- ・ **石崎千景氏**（九州国際大学法学部准教授／認知心理学）
虚偽の自白が行われるメカニズムについて
——心理学的見地から——
- ・ 司会：内藤大海（熊本大学法学部准教授／刑事訴訟法）

お問い合わせ：hnaito@kumamoto-u.ac.jp（内藤）